



津市と中部国際空港を約45分で結ぶ高速船のターミナルや、レストランなどの民間商業施設ベイスカがあり、利用者専用の無料駐車場が整備されています。



休耕田となった棚田を利用し、地元住人の手で大切に育てられたハスは、白やピンク、黄色など4種類あります。早朝や午前中には特に幻想的な風景が広がります。



清少納言の枕草子にうたわれ、古くから伊勢神宮の参拝前に身を清める「湯ごり」の地として知られています。無色透明のトロとした湯は肌がつるつるになる美肌の湯です。



3月から4月にかけて、3つに分かれた枝の先に黄色くかわいらしい花を咲かせます。シーズンになると山一面が黄色い花でふんわりと包まれます。



津には県立自然公園に指定された約17kmに及ぶ海岸があります。春から夏にかけて遠浅で波静かな御殿場海岸では、潮干狩りが楽しめます。



松阪駅から終点の伊勢奥津駅までをのんびりと走るローカル線。雲出川沿いの見事な渓谷美とリフレクションを生み出す家城ラインは必見です。



人々に愛されるおやつをモチーフにしたテーマパークで、アスレチックやスライダーで身体を動かしたり、オリジナルのおやつ作りを楽しんだりできます。



美里地域に整備された約8haの森で、1.8kmの遊歩道が敷かれています。7つの森と1つの谷を歩きながら、動植物を見て、触れて、森の役割について考えることができます。



雲出川沿いの公園で、水遊びやバードウォッチングなどさまざまなアクティビティが楽しめます。長期滞在型市民農園では自分で育てた野菜を収穫する喜びも。



道の駅津かわげと、美杉産の木で造られた建物が特徴的な道の駅美杉には、津の新鮮な海のもの・山のものを求め、市内外からたくさんの方が訪れます。



2023年に新エリアが誕生した中勢グリーンパーク。芝そりゲレンデやドッグラン、カフェなどがオープンし、子どもから大人まで一日中楽しめます。



市内にはさまざまなキャンプ場が充実。温泉付きのキャンプサイトや美しい清流・海辺の近く、眺めのいい高原などで豊かな自然を満喫できます。



四季折々の景観が楽しめ、春は1500本の桜、秋は紅葉がダムを彩ります。特に桜の花が湖に映る姿は圧巻。湖畔を見下ろす高台には市営のレストランもあります。

津のきらり☆
観光人
KANKO-BITO

角谷昌彦さん
津市観光協会

出かけるのが大好きで、仕事・プライベートを問わず全国の名所やスポットを訪れています。その中でも、津市最大の推しポイントは、バラエティに富んだ観光資源！10市町村合併により特徴ある地域が一つになり、多様な魅力があふれるまちになりました。例えば、海岸では潮干狩りやマリンスポーツを楽しみ、深い山では森林浴でリフレッシュ！国宝あり、温泉あり、絶景ローカル線もある。特に山間部は清流に育まれたアマゴやホテルがいて、トレイルやキャンプなど、お金をかけずに楽しめるスポットも多くあります。そして、お伝えしきれていない魅力もあると思っています。

観光PRをする上で、私が一番大切にしていることは「地元愛」です。誰より津市民の皆さんに津が好きだと言ってもらいたい！それが観光促進や、UIターンにつながっていると思っています。これから市内外の皆さんに、まだまだ知られていない津の名所・スポットを発信していきたいです。

こちらも注目！

かふるさと寄附

生まれ育った地域や思い入れのある場所。ふるさと納税は、そんな「ふるさと」の地方公共団体に寄附することで、そのまちを応援する仕組みです。津市のふるさと納税「かふるさと津かがやき寄附」で、ぜひ津のまちを応援してください！



ふるさと津かがやき寄附